

連絡網にて会員各位（各グループ企業）へ配付、FAX方お願いいたします。

発信番号：DNSC-283 発信日：2003年4月24日 原稿枚数：1

会員各位（総経理・所長、駐在員の皆様）

ご家族の方にもお知らせ下さい

発信：大連日本商工クラブ
事務局長 加藤 康二

大連市衛生局・対外貿易経済合作局共同主催 SARS 説明会要旨

1. 開催日時 2003年4月23日(水)14:10～14:40
2. 会場 大連シャングリラホテル3階多目的ホール
3. 報告者 大連市衛生局 梁副局長
大連市予防センター 劉主任
司会 大連市対外貿易経済合作局 于涛副主任
4. 出席者 大連の外資系企業代表者(約70名)
5. 主な説明内容(使用言語は中国語のみ)

(1)大連市衛生局梁副局長の報告(現状および対応措置等の紹介)

大連にはSARSの病例(感染者)が1件もない。この病気でカナダの死亡率は約10%だが、中国は約4%である。中国は死亡率が一番高い国とはいえない。

病例がないからといって警戒心を緩めてはいけない。予防対策の業務は厳格に実施する。大連市政府は現在本件を重要課題として取り組んでいる。

交通部門、学校部門等各部門は統一して予防の仕事をしっかりする。

外部流入者からの感染を防止する。人が多数集まったところにはなるべく行かないこと。船、電車、飛行機、長距離バスに乗る時は「健康申告表」を記入すること。万一SARSにかかった疑いが発生すれば、周囲の人(同乗者)を含めてチェックすることができる。

交通機関は消毒、通気(換気)による予防対策をする。

図書館、映画館、学校の一番良い予防対策は通気である。大連市では関連部門が各分野でいずれの対策をしているのか検査を実施している。学校でも1日朝、昼2回生徒の健康状況検査を行っている。

外地から大連に戻る人に対し、各企業で名前、訪問先などを登録するという関連対策を実施する。

メディアを通じて市民の予防意識を高める。

(2)予防センター劉主任の報告(予防策の紹介)

SARSの伝染経路は近距離飛沫感染と、直接接触(医療現場、患者への接触)による伝染。

予防としてドアを開けて通気性をよくするのが一番簡単で有効な方法である。エアコンは消毒し、できるだけ使わない方がよい。SARSは抵抗力が低い人がかかりやすく、戸外運動を心がける、休養を充分に取る、手を勤勉に洗うのが一番大事なことである。手は毎回30秒以上洗うこと。

SARSの初期症状は38以上の熱が出る、身体がだるくて痛い。このような症状があればすぐ病院に行って検査を受けること。

SARSに関する衛生当局の問合せ先>電話4337000、4337111

以上